

## 主人公が告白未遂

一  
つ  
あ  
一

楽しかつたー！

『せんぱい、どうでした？』

## 『今日のお買い物は』

一  
九  
九  
九

はつが一端に、

六十九  
〔後漢書〕

あいたつ、なんでチヨツプするんですか!』

『わわつ、や、やめつ  
髪をわしやわしやしないでください！』

『もう、女の子の髪は纖細なんですよ！』

『するならなでなでにしてください  
まへ、どうぞ』

『ふん』

『このくらいでいいです、

ありがとうございます。

『そーいえば先輩

実は服を選んでもらった時からずっと聞きたいことがあつたんです』

『どうしてあそこのポイントカード持つてたんですか?』

『だっておかしいじゃないですか  
あそこのディースハ割のお店ですよ  
先輩が通つてるとは思えません』

『はいそこ嘘つかない

それに、私が見た時は発行日昨日つてなつてましたけど』

『なら見せてくださいよ』

『ううう、往生際が悪い人ですね  
どうしてそんなに隠そうとするんです』

『別にいいじゃないですか』

『私は嬉しいですよ?』

先輩が今日をどれだけ楽しみにしてくれてたのかわかつて』

『私だってほんとはすっごく楽しみだつたんです』

『あの時先輩を煽つちゃいましたけど、今日本当は、デートのつもりで誘いましたし』

『だから先輩?』

次からは正直に白状して、お互い素直に楽しくデートしましよう

『なに驚いた顔してるんですか』

『次もデートするのは当たり前です』

『こんなこと女の子に言わせないでください』

『…ふう

もう、分かれ道、ですね』

『名残惜しいですが、

帰ってからも電話とかできますし、  
今日のところは・きやつ』

『せせせ先輩!?

腕を掴まれたら帰れないですよ!』

『そ、それって今すぐじやなきやだめ、なんですか?』

『どうしても?』

『はあ、わかりました

聞きます、聞けばいいんですね』

『ではまず手を話してください

このままだとその…恥ずかしいです』

『それで先輩

話つてなんですか』

『そんな真面目な顔して、

まるで今から告白するみたいじやないですか』

『・・・』

『え、うそ

ま、待ってください!

ダメです!今は、まだ…』

『すみません、先輩』

『告白は私の早とちりかも知れませんが、もしそうならお返事はできません』

『…あ、ごめんなさい

そんな顔させるつもりじゃ…』

『せんぱつ

ああいや、今日はもう帰りますね！』

『また明日学校で！』